

地域活動のご紹介 地域から信頼され、必要とされる士業であり続けるために・・・

士業ネットCaféをはじめました

昨年、司法書士試験に合格したばかりの方や、開業して間もない若手の方を対象に、清水が「事務所経営」をテーマにお話しする機会がありました。

実務に関する研修は多くありますが、「経営」という視点で語られる場はまだ多くありません。当日は皆さまから多くのご質問やご感想をいただき、これからの業界を担う方々の真剣な姿勢に、あらためて身が引き締まる思いでした。



また当所では、司法書士試験に合格された方の研修の受け入れを継続して行っており、これまで多くの方と接してきました。期待と同時に不安も大きく、進むべき道に迷われる方々の姿に触れる中で、資格取得後間もない方が、無理なく仕事を続けていけるような関わりの大切さを、あらためて感じるようになりました。

一方で、日々の仕事の中で感じることがあります。司法書士の業務は、人の人生に深く関わる場面が多くあります。相続や不動産に関する手続きをはじめ、さまざまなご相談においても、それは単なる書類のやり取りでは終わりません。その背景には、ご家族それぞれの思いやこれまでの関係性があり、「どう分けるのがよいのか」「この家をどうしていくのか」と悩まれる場面に立ち会うことも少なくありません。

また、遺言の場面では、最期を迎えようとする方の想いに触れ、その言葉を形として残すお手伝いをすることもあります。

こうした一つひとつの場面に向き合う中で、簡単に答えが出せない問いを前に、立ち止まり、考え込むことも少なくありません。そして、このような仕事の重みを抱え続ける中で、心身のバランスを崩してしまう同業者の姿を目の当たりにしてきました。専門職であるがゆえに、一人で抱え込みやすい側面があることを実感しています。

このような経験を背景に、清水が主宰者として「士業ネットCafé」を立ち上げました。

立場や経験を越えて気軽に話ができる場をつくることで、これからの業界を担う若い世代が無理なく長く、この仕事を続けていけるようにしたいと考えています。

士業ネットCaféは、この4月で3回目の開催を迎えます。司法書士に限らず、弁護士、税理士、弁理士など他分野の若手の方にもご参加いただき、専門の違いを越えた対話が少しずつ広がりはじめています。

この場は、勉強会でも営業の場でもありません。人と人が出会い、会話の中から新しい視点や気づきが生まれる、そんな時間を大切にしています。

また、日々の仕事の中で感じる悩みや迷いを気軽に言葉にできる場として、参加者同士の安心感や心のゆとりにもつながっているように感じています。

このような取り組みは、一見するとお客様とは直接関係のないことのように見えるかもしれませんが。しかし、さまざまな立場の方と関わり、視点を広げ続けることは、一つひとつのご相談により丁寧に向き合う力につながっていくと考えています。

これからも、人とのつながりを大切にしながら、目の前のご相談に誠実に向き合ってまいります。

